



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月8日

上場会社名 株式会社ルネサンス 上場取引所 東
 コード番号 2378 URL <http://www.s-renaissance.co.jp/>
 代表者（役職名）代表取締役社長執行役員（氏名）岡本 利治
 問合せ先責任者（役職名）取締役専務執行役員 最高財務責任者（氏名）安澤 嘉丞（TEL）03-5600-7811
 半期報告書提出予定日 2024年11月13日 配当支払開始予定日 2024年12月9日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト・マスコミ向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	31,367	48.3	874	210.2	468	118.9	222	47.5
2024年3月期中間期	21,155	6.4	281	191.6	214	763.9	150	—

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 268百万円(254.8%) 2024年3月期中間期 75百万円(—%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	11.25	10.06
2024年3月期中間期	7.46	7.14

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	54,234	11,558	21.3
2024年3月期	53,194	11,425	21.5

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 11,547百万円 2024年3月期 11,413百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	3.00	—	7.00	10.00
2025年3月期	—	3.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	8.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式（非上場）の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご参照ください。

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	63,500	45.6	1,800	42.7	1,000	90.6	700	10.6	36.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細については、本日公表の「2025年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期中間期	21,379,000株	2024年3月期	21,379,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	2,482,987株	2024年3月期	2,490,706株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年3月期中間期	18,891,205株	2024年3月期中間期	18,888,294株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信（添付資料）1ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報」をご覧ください。

（参考）種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりであります。

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
A種種類株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	4.78	—	4.78	9.56
2025年3月期	—	4.78			
2025年3月期(予想)			—	4.78	9.56

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2024年4月1日~2024年9月30日)においては、前連結会計年度末に100%連結子会社となった株式会社スポーツオアシス(以下、「オアシス」といいます。)のホームフィットネス事業である家庭用運動機器の販売が好調に進んだこと等により、売上高は計画を上回る結果となりました。コスト面においては、引き続き人材への投資を強化した一方、政府の補助により光熱費が抑えられたことや店舗の修繕費及びオアシスとの合併に伴うPMI(合併後の業務統合)費用が一部下期にずれ込んだこと等により、計画を下回りました。この結果、当中間連結会計期間における当社グループの業績は、売上高313億67百万円(前年同期比48.3%増)、営業利益8億74百万円(前年同期比210.2%増)、経常利益4億68百万円(前年同期比118.9%増)、親会社株主に帰属する中間純利益2億22百万円(前年同期比47.5%増)となりました。

当社グループは、「生きがい創造企業」という企業理念のもと、「人生100年時代を豊かにする健康のソリューションカンパニー」を長期ビジョンに掲げ、すべてのライフステージにおいて、人々が心身ともに「健康」で「生きがい」を持って豊かに過ごせることを目指し、事業活動に取り組んでおります。また、2024年5月に「2024-2027中期経営計画」を策定し、大きな方向性である、①総合型スポーツクラブのリーディングカンパニーとして業界をリード ②フィットネス業界の枠を超えた中長期成長ドライバー創出、に向けその初年度をスタートしました。

<スポーツクラブ事業>

スポーツクラブ事業では、当第2四半期において新規入会者数に一部弱さが見られたものの、法人契約を結ぶ企業・健康保険組合向け会員種別であるマンスリーコーポレート会員の入会が、新たな入会プランを導入したことにより、計画を上回って好調に推移しました。また、退会者数が、価格改定の影響を受けた前年同期から大きく下回りました。

当中間連結会計期間においては、前連結会計年度に新規出店した4施設及び2024年3月に事業継承し4月にリニューアルオープンした「スポーツクラブ ルネサンス KSC金町24」、並びにオアシスの会員数の増加により、スポーツクラブ事業の売上高は264億79百万円(前年同期比38.0%増)、当中間連結会計期間末の在籍会員数は503,852名(うちオンライン会員数62,285名)(前年同期比28.9%増)となりました。

「2024-2027中期経営計画」におけるスポーツクラブ事業の方向性である、「収益基盤の強化と事業構造改革」「営業継承・M&A」については、資本事業提携を結ぶアドバンテッジアドバイザーズ株式会社とプロジェクトを組み、施設ごとの収益構造の特徴に応じた対策や、顧客価値の向上につながる営業継承・M&A案件の検討等を実施しました。

スポーツクラブ運営のノウハウを活かしたBtoG領域(地域の健康づくり)では、学校の水泳授業受託において、ボールの老朽化や教員の負担軽減、猛暑日の増加等によるニーズの高まりを受け、前年同期の約1.6倍となる44自治体、79校にて水泳授業を実施しました。また、各自治体と連携した地域の健康づくり及び防災の取組として、当中間連結会計期間において神奈川県横浜市が進める保健事業と介護予防の一体型の実施事業を受託したほか、福岡県春日市及び東京都西東京市と防災時の当社施設利用に関する協定を締結しました。当中間連結会計期間末において、28の自治体と健康増進や防災等に関連する連携協定を結んでおります。

BtoB領域(企業・健康保険組合向け働く人の健康づくり)では、引き続き、住友生命保険相互会社(大阪府大阪市中央区)のVitality会員の利用を中心に、オンラインレッスンサービス「RENAISSANCE Online Livestream(以下、「ROL」といいます。))を通じた企業の健康づくり施策のサポートを拡大しました。8月からは、アフラック生命保険株式会社(東京都新宿区)が実施する健康増進活動への取組とその継続に対する支援のサポートとして、同社のすべての保険契約者に向けて、当社スポーツクラブ及びROLの優待サービスの提供を開始しました。

<介護・医療周辺事業>

介護・医療周辺事業では、リハビリ特化型デイサービス「元氣ジム」を中心とする介護リハビリ事業が堅調に推移し、当中間連結会計期間の売上高は9億89百万円(前年同期比2.4%増)となりました。新規施設の開設においては、9月に、「スポーツクラブ ルネサンス 港南台24」内に訪問看護ステーション「ルネサンス リハビリステーション港南台」を開設しました。本施設は、スポーツクラブ内に開設する訪問看護ステーションの2施設目となり、運動と在

宅ケアの両面から地域の健康づくりを支援してまいります。また、認知症予防の取組において、認知症の方が自分らしく暮らせる共生の社会を目指し、当事者参画型開発を普及する経済産業省の「オレンジノベーション・プロジェクト」参画企業に採択されました。自社開発の脳活性化メソッド「シナプソロジー」や、理学療法士等が開発した機能改善プログラムのノウハウを活かし、超高齢社会が直面する課題解決に取り組んでまいります。

<ホームフィットネス事業>

ホームフィットネス事業では、家庭用運動機器の通販において、第1四半期に引き続き、売れ筋商品である「ツイストステッパー」シリーズのネット販売が計画を上回って推移したほか、座ったまま内転筋を鍛えることができる充電式振動ボール「スタイリーボール」の卸売販売が好調となり、当中間連結会計期間の売上高は23億77百万円(前年同期より22億93百万円増)となりました。

当中間連結会計期間の新規出店(業務受託、指定管理を含む)は以下のとおりです。

出店・開設時期	施設名	施設形態
2024年4月	スポーツクラブ ルネサンス KSC金町24(東京都葛飾区)	スポーツクラブ
2024年4月	BEACHTOWN 大山(鳥取県西伯郡大山町)	アウトドアフィットネス(BEACH TOWN)
2024年4月	からつ市公営施設コミュニティエリア(佐賀県唐津市)	業務受託
2024年4月	粕屋町総合体育館(福岡県糟屋郡粕屋町)	業務受託
2024年4月	春日市いきいきプラザ(福岡県春日市)	業務受託
2024年4月	伊予市しおさい公園(愛媛県伊予市)	指定管理
2024年4月	伊予市ふたみ潮風ふれあい公園(愛媛県伊予市)	指定管理
2024年7月	Re PT GYM RENAISSANCE JAPAN Times City(ベトナム ハノイ市)	パーソナルトレーニングジム(ルネサンスベトナム)
2024年7月	THE OSAKA STATION HOTEL, Autograph Collection 30F GYM/OFURO(大阪府大阪市)	業務受託(オアシス)
2024年9月	ルネサンス リハビリステーション港南台(神奈川県横浜市)	介護リハビリ(直営)

以上の結果、当中間連結会計期間末の当社グループの施設数は、スポーツクラブ220施設(ルネサンス:直営107施設、業務受託63施設、運営支援4施設、オアシス:直営32施設、業務受託12施設、RENAISSANCE VIETNAM, INC.:直営2施設)、小型業態3施設(ルネサンス:直営2施設、RENAISSANCE VIETNAM, INC.:直営1施設)、介護リハビリ45施設(直営35施設、フランチャイズ10施設)、アウトドアフィットネス14施設(直営5施設、業務受託9施設)の計282施設となりました。

また、第3四半期以降は、以下の新規出店(業務受託、指定管理を含む)を予定しております。

出店・開設時期	施設名	施設形態
2024年10月	ルネサンス 元氣ジム大船岡本(神奈川県鎌倉市)	介護リハビリ(直営)
2024年10月	CARAPPO 虎ノ門ヒルズ(東京都港区)	業務受託(オアシス)
2024年11月	ルネサンス 元氣ジム弥生台(神奈川県横浜市)	介護リハビリ(直営)
2024年11月	ジム&スタジオ ルネサンス 東あずま24(東京都墨田区)	スポーツクラブ

当社グループの報告セグメントは「スポーツクラブ運営事業」のみであるため、セグメントごとの業績については記載していません。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ10億39百万円増加し、542億34百万円となりました。これは主に、現金及び預金が増加したこと等により流動資産合計が6億51百万円増加したこと、及び建物及び構築物が増加したこと等により固定資産合計が3億92百万円増加したことによるものです。

当中間連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ9億6百万円増加し、426億75百万円となりました。これは主に、短期借入金が増加したこと等により流動負債合計が12億75百万円増加したこと、及びリース債務が減少したこと等により固定負債が3億69百万円減少したことによるものです。

当中間連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億33百万円増加し、115億58百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益2億22百万円を計上したこと、配当金1億42百万円を支払ったこと等により利益剰余金が80百万円増加したこと、また、為替換算調整勘定が38百万円増加したこと等によりその他の包括利益累計額合計が45百万円増加したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間において、現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の中間連結会計期間末残高は69億92百万円となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りです。

イ. 営業活動によるキャッシュ・フロー

当中間連結会計期間5億10百万円(前年同期19億86百万円)

営業活動により得られた資金は、5億10百万円となりました。これは主に減価償却費15億32百万円(前年同期比34.5%増)、未払金の減少額6億29百万円、法人税等の支払額2億64百万円によるものです。

ロ. 投資活動によるキャッシュ・フロー

当中間連結会計期間△17億33百万円(前年同期△17億72百万円)

投資活動に使用した資金は、17億33百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出17億74百万円(前年同期比46.5%増)、敷金・保証金の差入による支出3億75百万円(同23.8%減)、敷金・保証金の回収による収入3億28百万円によるものです。

ハ. 財務活動によるキャッシュ・フロー

当中間連結会計期間19億65百万円(前年同期△3億31百万円)

財務活動により得られた資金は、19億65百万円となりました。これは主に短期借入金の純増加額21億円、長期借入れによる収入17億円、長期借入金の返済による支出11億91百万円(前年同期比5.3%増)、リース債務の返済による支出5億8百万円(同44.3%増)によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、当中間連結会計期間までの状況および今後の見通し等を勘案したうえで、2024年8月8日に公表いたしました通期連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「2025年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,206,728	6,992,559
売掛金	2,189,035	2,134,162
商品	756,560	768,339
その他	1,852,544	1,762,030
貸倒引当金	△12,701	△13,118
流動資産合計	10,992,166	11,643,973
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,252,143	8,994,739
リース資産(純額)	13,759,415	13,207,776
その他(純額)	2,693,745	2,964,949
有形固定資産合計	24,705,304	25,167,465
無形固定資産		
投資その他の資産	2,112,030	1,984,739
投資その他の資産		
投資有価証券	33,685	38,634
敷金及び保証金	12,374,658	12,473,789
その他	2,958,358	2,912,013
投資その他の資産合計	15,366,701	15,424,437
固定資産合計	42,184,036	42,576,643
繰延資産	18,066	13,590
資産合計	53,194,269	54,234,206
負債の部		
流動負債		
買掛金	87,888	93,994
短期借入金	2,400,000	4,500,000
1年内返済予定の長期借入金	2,343,084	2,566,084
未払法人税等	403,192	383,996
賞与引当金	1,020,464	1,038,496
店舗閉鎖損失引当金	21,705	21,705
資産除去債務	28,472	24,360
その他	7,202,755	6,154,506
流動負債合計	13,507,562	14,783,145
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	1,499,988	1,499,988
長期借入金	4,708,637	4,994,095
リース債務	15,339,570	14,853,894
退職給付に係る負債	1,363,783	1,368,931
資産除去債務	2,524,289	2,540,230
その他	2,825,372	2,635,210
固定負債合計	28,261,642	27,892,350
負債合計	41,769,204	42,675,495

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,210,356	3,210,356
資本剰余金	5,813,491	5,813,447
利益剰余金	5,131,498	5,211,724
自己株式	△2,514,753	△2,506,960
株主資本合計	11,640,592	11,728,567
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,348	11,782
為替換算調整勘定	△213,914	△175,684
退職給付に係る調整累計額	△21,634	△17,629
その他の包括利益累計額合計	△227,201	△181,530
新株予約権	11,673	11,673
純資産合計	11,425,064	11,558,710
負債純資産合計	53,194,269	54,234,206

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	21,155,994	31,367,147
売上原価	19,719,245	28,655,106
売上総利益	1,436,749	2,712,040
販売費及び一般管理費	1,154,875	1,837,657
営業利益	281,874	874,383
営業外収益		
受取利息	4,089	4,464
為替差益	87,773	—
持分法による投資利益	49,031	—
その他	75,073	30,131
営業外収益合計	215,967	34,596
営業外費用		
支払利息	265,712	369,980
為替差損	—	56,916
その他	18,016	13,457
営業外費用合計	283,728	440,354
経常利益	214,112	468,624
特別利益		
固定資産売却益	—	28
特別利益合計	—	28
特別損失		
固定資産除却損	4,431	21,938
その他	1,950	1,074
特別損失合計	6,382	23,013
税金等調整前中間純利益	207,730	445,640
法人税、住民税及び事業税	45,026	252,061
法人税等調整額	11,869	△28,864
法人税等合計	56,896	223,196
中間純利益	150,833	222,443
親会社株主に帰属する中間純利益	150,833	222,443

中間連結包括利益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	150,833	222,443
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,471	3,434
為替換算調整勘定	△80,699	38,230
退職給付に係る調整額	3,971	4,005
その他の包括利益合計	△75,256	45,670
中間包括利益	75,577	268,114
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	75,577	268,114
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	207,730	445,640
減価償却費	1,139,306	1,532,275
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	24,676	10,874
長期未払金の増減額(△は減少)	235,008	△83,917
賞与引当金の増減額(△は減少)	41,957	△1,434
固定資産売却益	—	△28
固定資産除却損	4,431	21,938
受取利息及び受取配当金	△4,173	△4,564
支払利息	265,712	369,980
売上債権の増減額(△は増加)	110,577	43,253
棚卸資産の増減額(△は増加)	△41,436	△15,955
前払費用の増減額(△は増加)	△114,244	△125,423
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,495	6,105
未払金の増減額(△は減少)	△186,625	△629,243
未払費用の増減額(△は減少)	93,619	△104,816
前受金の増減額(△は減少)	△1,838	△43,405
未収消費税等の増減額(△は増加)	337,793	—
未払消費税等の増減額(△は減少)	179,040	△62,880
その他	△161,877	△211,698
小計	2,128,164	1,146,700
利息及び配当金の受取額	134	675
利息の支払額	△266,565	△371,585
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	124,838	△264,901
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,986,571	510,888
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,211,296	△1,774,521
有形固定資産の売却による収入	—	28
無形固定資産の取得による支出	△224,869	△114,448
長期貸付けによる支出	—	△39,411
長期貸付金の回収による収入	31,737	28,425
敷金及び保証金の差入による支出	△492,342	△375,370
敷金及び保証金の回収による収入	143,234	328,402
その他	△19,387	213,174
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,772,922	△1,733,719
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△600,000	2,100,000
長期借入れによる収入	1,000,000	1,700,000
長期借入金の返済による支出	△1,131,542	△1,191,542
リース債務の返済による支出	△352,428	△508,718
自己株式の処分による収入	—	7,749
配当金の支払額	△79,080	△142,165
セール・アンド・リースバックによる収入	831,732	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△331,319	1,965,323
現金及び現金同等物に係る換算差額	△80,699	38,230
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△198,370	780,722
現金及び現金同等物の期首残高	5,532,596	6,211,989
現金及び現金同等物の中間期末残高	5,334,226	6,992,712

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループの報告セグメントが「スポーツクラブ運営事業」のみであるため記載を省略しております。